

切さ、思いやりの心の大切さを、杉原千畝記念館を中心にこれからも世界へ発信し続けてまいります。このことは、将来にわたって継続していかなければいけないことと考えています。

答 (金子町長)

一生懸命頑張っても報われないことが多いのです。それでも頑張れ一生懸命、きつと何かがついてくるから、このように考えております。

「登録を逃しても功績のすばらしさは変わらない」「千畝さんの人道精神が世界の多くのの人々に伝わり、平和を願う気持ちや人権を大切にする心が広がってほしい」「大切なことは、私たちが杉原さんの人道精神を次の世代に引き継ぎ、新しい未来をつくっていくこと」「勉強してきたことを学校の皆や地域に広めていきたい」これは我が中学校生徒のコメントです。

また先日、町外の岐阜方面の方から一部報道を見られて手紙が届きました。「先日、一部報道を見て大変腹立たしく思い、八百津町の皆様の心中を察し、私の感想を述べさせていただきたくご連絡申し上げます。八百津町は、郷土の偉人、杉原千畝氏の勇気ある行動を顕彰すべく永年活動され、杉原氏の散逸した資料もコツコツと集め、他のどここの自治体よりも早くから熱心に活動され、世界記憶遺産へ

の登録を目指してられました。何か思惑があつて報道しているようなスタンスで放送し、違和感を感じておりました。腹立たしい思いをされているかもしれないが、八百津町が取り組んでこられたことは、大変立派なことであり、自信を持って堂々と活動されることを祈念いたします。」

認定されなかったことの検証は

町長はフランスやアメリカ、シカゴなどに出張し、結果としては認定には結びつかなかったが、世界に杉原千畝氏を広めることができたということについては、大変良かったと思う。

答 (山内タウンプロモーション室長)

何れも正確な情報がないため検証することができません。ユネスコ国際諮問委員会（IAC）の会議は、非公開で行われています。そのため、ユネスコのホームページの情報以外は何もありません。登録可否の情報も発表予定日等も何も情報がないため、パリでIACの会議

が開催される日から24時間体制でホームページを確認してました。

今後、国、県、日本ユネスコ国内委員会を通じて、できる限りの情報収集ができればと考えています。

CBCテレビの協力や県の補助は

検証については、CBCテレビがしつこく追いかけている。そこで、よく話し合い、CBCテレビと手を組んでCBCテレビを利用し事業を進めてはどうか。また、町長は県に対して補助金をお願いしたらどうか。

答 (山内タウンプロモーション室長)

この申請というのは日本ユネスコ国内委員会を通じて申請をしています。検証することに対して、そちらを通じて情報を収集したいと思っています。

また、杉原千畝氏に関する事業の補助金に関しては、杉原プロジェクトとして世界の記憶登録事業を平成27年度から3年間実施してきました。その中で、本年10月末までに県の清流の国ぎふ推進補助金として、世界の記憶登録に向けたのぼり製作事業、杉原千畝シンポジウム事業、デジタルアーカイブ構築事業、杉原サバイバー招聘事業で300万円の補助金をいただいています。

今後、杉原千畝顕彰事業として、さまざまな事業を展開することとなりますが、財源確保は厳しい中ですので、引き続き県の補助金等をお願いしたいと考えています。

柘植清貴議員

Q1 今後のまちづくりはどういう

今後の町づくりと観光振興は

現在は平成30年度の予算編成の時期だが、新年度に取り組む事業や総合計画に基づいて、どのようなまちづくりを目指し進めて行くのか伺いたい。

また、タウンプロモーション室は観光振興についても業務を行っているが、観光振興について、八百津町、観光協会、商工会との連携を積極的に進めるべきではないかと考えるが、その連携についても今後の方針を伺う。

答 (山内タウンプロモーション室長)

八百津町行政組織規則で、タウンプロモーション室の企画推進係は8つの分掌事務があります。この中で特に杉原プロジェクトに関するものを中心に、それぞれの事業と絡めてプロモーション事業を進めてまいります。

た。第5次八百津町総合計画では、まちづくりの将来像を「ひとと自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ」として、町の宝である千畝氏の人道精神を基調にしつつ、町民と自然が共生して生活できる優しいまちづくりを目指すとともに、それを現在だけでなく、より発展的に将来へとつなぎ、人が輝くようなまちづくりを目指してまいります。

今後も杉原千畝記念館を中心に杉原プロジェクトとして、杉原千畝顕彰事業を今までのようにそれぞれの事業と連携させて展開し、千畝氏の人道的行為に基づき人道精神の普及・啓発などを通じて、「杉原千畝の精神を受け継ぐ人道のまち やおつ」として人道のまちづくりを推進してまいります。

また、観光協会、商工会との連携方針については、当町の観光を牽引されている商工業者の多くの方が会員となっておられる観光協会ですので、観光振興についても連携以上に牽引していただきたいと考えています。将来的には独立した法人組織化を目指していますが今後、観光協会とも協議していかなければいけないと考えています。当町の観光や特産品の強みを生かし、宿泊施設などの弱みや近隣市町村の観光の強みを生かすなど、近隣観光協会とも連携